

令和6年度 国際交流の概要

現在、世界の7つの国・地域の15の大学と学術交流協定を結んでおり、教員間の学術交流と併せて学生の短期留学や海外研修セミナーなどの相互交流を行っています。国際交流センターでは、より体系的な組織運営を通じて、協定校との連携を中心とした本学のさらなる国際化を目指します。

【協定校】

教職員の交流、学生の交流、学園及び学術情報の交流、共同研究、講義シンポジウムなどを目的として、海外の大学と学術交流協定を締結しています。この協定に基づく、1年以内の交換留学は年間2～3名可能であり（相手先により異なる）、入学料や授業料などの学費免除や単位認定に関する配慮などが取り決められています。

アラスカ大学フェバンクス校（米国）、ニューヨーク州立大学SUNYアディロンダック校（米国）、リュブリャナ大学（スロベニア）、安徽三聯学院（中国）、廈門理工学院（中国）、貴州民族大学（中国）、モコン大学（韓国）、大田科学技術大学（韓国）、建国大学グローバルキャンパス（韓国）、国立宜蘭大学（台湾）、元培医事科技大学（台湾）、義守大学（台湾）、国立台北大学（台湾）、ブラパー大学（タイ）、ハノイ大学（ベトナム）

※令和6年度のJASSO留学生調査の基準に基づき集計

<派遣> 昨年度は大学、大学院、短大で合計1名派遣しました。

大学1名（オーストラリア1名）

<受入> 今年度の5/1現在、大学、大学院、短大で合計162名の留学生を受け入れています

大学31名（ネパール17名、中国10名、ベトナム2名、タイ2名）

大学院10名（中国9名、オーストラリア1名）

短大121名（ミャンマー106名、ベトナム4名、インドネシア3名、スリランカ3名、ネパール2名、
中国1名、英国1名、カンボジア1名）

■短期の国際交流活動（6か月未満の留学先の学位や単位取得を目的としない活動）

※令和6年度のJASSO留学生調査の基準に基づき集計

<派遣> 昨年度は大学、大学院、短大で合計27名派遣しました。

大学25名（オーストラリア10名、タイ6名、ネパール4名、韓国3名、ベトナム2名）

短大2名（タイ2名）

<受入> 昨年度は大学、大学院、短大で合計10名の留学生を受け入れました。

派遣元：韓国建国大学 10名

■特色ある国際交流プログラム

①本学では、中国海外研修セミナー、タイ海外研修セミナー、韓国海外研修セミナー、ベトナム海外研修セミナー、さらにオーストラリア海外研修セミナーを実施し、教員・学生の相互受入・派遣交流事業を活発に行っています。

社会福祉学科では、平成26年度より、厦門理工学院外国語学院日本語学科の「日本文化研修」を受け入れ、合同授業、国際合同合宿、学生サークル活動体験などを実施しています。一方、本学からも「中国厦門理工学院海外研修セミナー」として、「大学・自治体（神崎市役所）・地元産業（そうめん組合）・神埼地区日中友好協会・一般市民など」が連携協力して訪中し、「特別講演会」「アジア若者フォーラム」「佐賀・神埼物産フェア」など、大学と神埼地域および国際地域との連携事業を開催しています。また平成30年度よりは、本学教員が日本文化言語センター客員教授として招聘され、「現代日本社会論」や「現代日本福祉論」の集中講義を担当しました。令和3年度より、貴州民族大学や康養大学と海外オンライン講座も開講しています。またコロナ禍により来日できない中国人研究生（7名）のためにオンライン授業を開講したりしています。さらに令和6年度には、厦門理工学院と厦門工学院から教職員（32名）が来学され、唐津波戸岬少年の家で国際合同合宿なども実施しています。

②平成30年度より、「アジアン・コミュニティ・カフェ」（自主的な国際交流サークル）が結成され、「九州西部地域大学・短期大学連合産学官連携プラットフォーム事業」（QSP 事業）の一環として補助金も付いています。この事業参加により、長崎国際大学や佐賀県内の短期大学、さらに日本語学校や高校との連携協力関係が推進されています。令和2年度からは、佐賀県立商業高校との高大連携授業（「ビジネスと多文化共生」）として、本学留学生と高校生との交流による「文化紹介」「母語会話」「Q&Aセッション」などが行なわれています。

③「留学生と地域社会との交流活動」として、神埼地区日中友好交流協会の年間事業への企画立案運営過程への参加、「日中文化交流の集い」、「神崎市宿場まつり」、「小城市本町シャンシャン祭り」、「平成30年度まなびいフェスタ」（佐賀県立生涯学習センター主催）、「2020さが国際フェスタin神埼」（佐賀県国際交流協会主催）、「王仁公園わくわくフェスタ」（神崎市主催）などへの参加を通して、「地域社会や地域住民のグローバル」に寄与貢献しています。